

岡山国際協力機構

(目的)

岡山から国際協力を推進する人の輪である。岡山と海外との接点を拡大し岡山の有する地域社会資源を国際貢献に役立たせると共に岡山の国際化を日常生活レベルにおいて推進する。

海外で活動するNGO(国際協力民間団体)はその努力により現地で高い評価を受けている団体が多い。ただ日本国内のボランティア団体、地域団体及び住民と密接な関係を持っている団体は少ない。一方、地域には海外現地での活動に貢献できる多くの社会資源がある。岡山国際協力機構は海外で活動するNGO(国際協力民間団体)と岡山の地元ボランティア団体、地域団体及び住民との接点を拡大することと目的とする。

(内容)

- 1) 海外で活動するNGO(国際協力民間団体)の推薦する研修生(長期/短期)を受け入れる。
- 2) 岡山にある地域社会資源のNGO活動現地に技術移転をはかる。
- 3) 海外で活動するNGO(国際協力民間団体)を通して一般市民の国際貢献への直接参加を促進する。

(対象)

- 1) 難民支援
- 2) 農民支援
- 3) 留学生支援

(世話人)

| | |
|--------|-------------------------|
| 世話人代表 | モハメッドライース(株)林原総務/広報主幹 |
| 世話人副代表 | 田中治彦(岡山大学教育学部助教授:社会教育) |
| 事務局長 | 今井龍祥(ボランティアグループアウトロー代表) |
| 世話人 | 松田久(岡山青年会議所理事長) |
| 世話人 | 黒住信彰(黒住教学院長) |
| 世話人 | 宮尾俊輔(株)ハヤト代表取締役 |
| 世話人 | 菅波茂(アジア医師連絡協議会代表) |

(事務局)

岡山市丸の内1-7-1 (株)ハヤト 4階
(電話) 0862-34-2410 (FAX) 0862-22-8593

92/8

チャムロン氏来県を記念

難民、農業など支援へ

海外NGOと連携 どなたでも参加OK

岡山国際協力機構が正式発足

タイの民主化リーダー、チャムロン氏が七月に来県したのを記念し、構想が持ち上がった「岡山国際協力機構」がこのほど、正式に発足した。代表にバイオ企業「林原」の総務・広報グループ主幹でパキスタン人のモハマッド・ライースさんが就任するなど、国際性豊かな組織。「岡山から世界へ」を合言葉に、難民、農業、留学生の支援を中心にしたユニークな活動を展開していくこととしている。

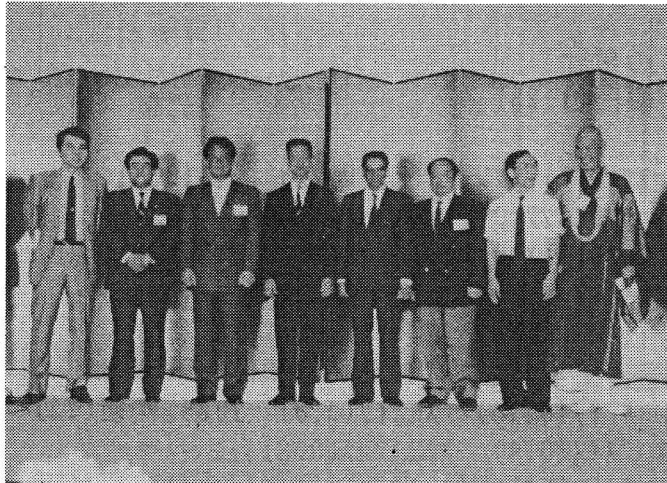
最初のプロジェクト

岡山市に留学生交流地区

岡山国際協力機構は、チャムロン氏を岡山に招いたNGO(非政府組織)の「アジア医師連絡協議会」(AMDA、本部・岡山市)の菅波茂代表の呼びかけで発足。「岡山から国際協力を推進する人の輪」とゆるやかな組織であることを根本に、「海外で活動するNGOと、岡山の地域団体及び住民との接点を拡大すること」を目的としている。副代表には国際ネットワークに詳しい田中治彦・岡山大学教授、事務局長に今井龍祥・ポランティアグループ「アウトロー」代表が就任。

また、世話人には菅波代表のほか、黒住信彰・黒住教学院学院長▽松田久・岡山青年会議所理事長▽宮尾俊輔・「ハヤト」社長が、名

の「岡山市国際交流モデル地区」の設置を予定。岡山大から五・以内の町内会な



岡山国際協力機構世話人メンバー

とコミュニティがしっかりとした地域を「国際交流モデル地区」に設定し、留学生が「お客さん」ではなく、地域の「住民」としてコミュニティに積極的に参加できるようにシステムを作る。そのため、住居や医療、アルバイトなど生活の基本的な要素を保障。これを基本に「交流コーディネーター」が地域の学校や住民らとコミュニケーションが図れるように手助けする。今年度中に地区を設定し、来年度から二十人程度の留学生を実際に迎えていく予定としている。

また、チャムロン氏の来県を記念し、タイ東北部の難民を支援するための「東北タイ農村基金」を設置することも決定。十月上旬にチャムロン氏がタイのカンチャナブリに建設する「農業指導者養成学校」などを訪ねるスタディ・ツアーを実施する。希望者は自由に参加できるという。同機構についての問い合わせは、事務局(0862・22・8101「ハヤト」内)。

ピアノ & テグトーン
親切な楽器の総合アドバイザー
ピアノがピアノ店
五島中央町(支所南100メートル)
☎08652④402899

8/30